

## 第97回新生ふくしま復興推進本部会議 議事録

- 日時：令和2年6月22日（月）13：30～13：35
- 場所：危機管理センター災害対策本部会議室（北庁舎2階）

### 【井出副知事】

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議を開催いたします。  
早速、議題「国への提案・要望」について、企画調整部長。

### 【企画調整部長】

4月8日の本部会議において決定いただきました「令和3年度の政府予算要望の進め方」に基づき、明後日24日、政府要望活動を行います。当日は、6月19日に東京との往来自粛が解除されたとは言え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に最大限の注意を払いながら、知事から総理官邸、政党、関係省庁を訪問し、終日、要望活動を行っていただく予定です。

資料1を御覧ください。ローマ数字ⅠからⅨの9つの柱立てに基づき要望46項目等を整理した一覧表です。

新型コロナウイルス感染症の収束はまだ当分先で、感染拡大防止と経済活動再開の両立に取り組み始めているものの、その影響は深刻であり、そうした現状においても、令和3年度は復興・創生期間が切り替わる重要な年であり、本県の復興・創生が遅れることのないよう、「復興計画」や新しい「ふくしま創生総合戦略」の推進に必要な予算の確保や、改正福島特措法等に基づく復興施策の推進について確実に要望してまいります。

もとより、復興・創生期間後においても本県の復興は中長期的な対応が必要であることから、今後、復興が進むことによって顕在化する新たな課題への対応を含め、本県の復興・創生に、引き続き、国が前面に立ち責任を持って取り組むよう強く求めてまいります。

このため、全般的事項として、全国的課題であるⅠ新型コロナウイルス感染症への対策の強化や、本県の復興・創生に向けたⅡ復興・創生期間後の復興を支える仕組み、財政的・人的支援を求めつつ、個別事項として、「Ⅲ避難地域・浜通りの復興・再生」、「Ⅳ福島イノベーション・コースト構想の推進、新産業の創出」、「Ⅵ風評払拭・風化防止対策の強化」、「Ⅸ地方創生の推進、大規模自然災害への対策、オリパラへの対応」など、本県が抱える重要項目について確実に要望を行い、本県の復興・創生を着実に前進させるよう強く求め

てまいります。その他、詳細については、資料のとおりとなっております。

これまでの復興・創生の取組の成果を説明しながら、復興・創生期間後も引き続き、風化を起こさせず、国からの十分な理解が得られるよう、知事を先頭に、丁寧に取り組んでまいりたいと考えております。

#### 【井出副知事】

ただ今の説明に関して、何かありますか。なければ、原案のとおり決定することとします。

それでは、知事からお願いします。

#### 【知事】

4月の本部会議において、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、従来の方法ではない「新しい現場主義」を実行していただくようお願いしました。各市町村に直接出向くことが難しい状況の中、テレビ電話、電話あるいは地方振興局など出先機関が個別の思いを吸い上げていく、こういった新しい現場主義をお願いしたところ。私自身、県内の59市町村長とテレビ電話を活用した意見交換を行い、県内の関係団体・機関とテレビ会議を使って意見交換を行ってきました。

こういった様々な意見のくみ取りを行いながら、今回46の項目を挙げています。これらは福島が復興・創生を進めていく上で全て重要な項目です。感染症の拡大防止のため、今年度の要望は最小の人数で行います。福島県の現状と課題をこれまで以上に国にしっかりと伝えていく必要があります。

あわせて、復興・創生期間の最終年度である今回の要望は、極めて重要な局面にあります。令和3年度以降も長期的な展望を持って切れ目なく安心して復興に取り組むことができるよう我々自身が先頭に立って思いを政府に伝えていかなければなりません。その際、今回はテレビ会議ではなく、直接対面しての要望となります。我々の気概、熱い情熱、また県民の皆さんの強い思い、こういったものを直接政府、与党の関係者にまっすぐ伝えていきます。各部局長においても、担当省庁、関係省庁との協議をしっかりと行ってください。

#### 【井出副知事】

以上で、復興推進本部会議を閉じます。